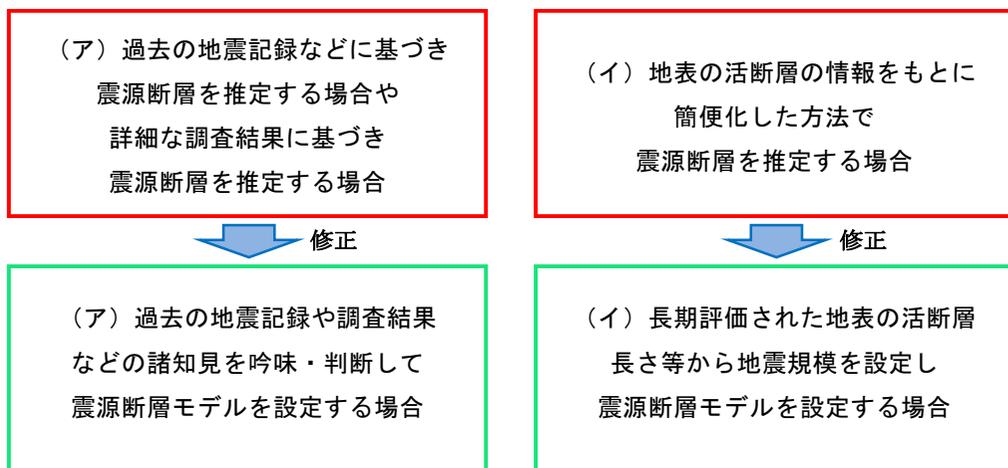


3 (ア) と (イ) の記載の修正

「レシピ」の「1.1 活断層で発生する地震の特性化震源モデル」「1.1.1 巨視的震源特性」において、平成20年4月11日の改訂以降、「(ア) 過去の地震記録などにに基づき震源断層を推定する場合や詳細な調査結果に基づき震源断層を推定する場合」として入倉・三宅式等により地震モーメントを設定する手法が記載されていた。それと並び、「(イ) 地表の活断層の情報をもとに簡便化した方法で震源断層を推定する場合」として松田式等により地震規模を設定し、それに合わせて震源断層面積を修正する方法が記載されていた(控訴審第13準備書面9頁)。

平成28年12月9日付けの修正ではこの(ア)と(イ)の表題部分の記載が改められ、「(ア) 過去の地震記録や調査結果などの諸知見を吟味・判断して震源断層モデルを設定する場合」、「(イ) 長期評価された地表の活断層長さ等から地震規模を設定し震源断層モデルを設定する場合」とされるに至った。



一見すると変化が分かり難いが、(ア)については従前、「過去の地震記録などにに基づき震源断層を推定する場合」及び「詳細な調査結果に基づき震源断層を推定する場合」と、2つの場合が並列的に並べられていたのが、「詳細な調査結果に基づき震源断層を推定する場合」が削除され、「過去の地震記録や

調査結果などの諸知見を吟味・判断して震源断層モデルを設定する場合」へと一元化された。これは、(ア)の手法を適用するためには、「詳細な調査結果」があるだけでは足りず、基本的に過去の地震記録と調査結果とが合わせて必要になるということを意味している。

(イ)については従前、「簡便化した方法」とされていたことにより、(ア)よりも厳密さを欠くものと見なされることもあったことから、この部分の記述が削除された。また、(ア)(イ)ともに、「震源断層を推定する場合」との記載は「震源断層モデルを設定する場合」へと改められた。

この修正の趣旨は、推本でレシピの作成・改訂を担当している強震動評価部会の部会長及び同部会強震動評価手法検討分科会の主査を務める、瀨瀨一起東京大学地震研究所教授の近時の見解を参照することで、より明確になる。

瀨瀨教授は島崎氏の問題提起と自身による熊本地震の分析を経た上で、①大地震が起こる前にいくら詳細な活断層調査を実施しても震源断層の長さや幅を推定することは困難であること、②活断層の地震の地震動予測には(ア)よりも(イ)の方法を用いるべきこと、③電力会社が採用している(ア)の方法では過小評価になること、を述べている(甲350「東洋経済オンライン」、甲360「日本地震学会秋季大会予稿」等参照)。

これと前記1のレシピ冒頭の加筆部分を合わせれば、原子力事象者が「詳細な調査」を実施しているとして「断層モデル」では悉く(イ)の手法を採らず、(ア)の手法だけを採用して震源断層モデルを設定している現状を推本が憂慮し、これを改めさせるための表現の修正であることは優に推認できる。

レシピの「1.1 活断層で発生する地震の特性化震源モデル」では、従前より、「モデルの不確実性が大きくなる傾向がある」ことから、「複数の特性化震源モデルを想定することが望ましい」とされてきた。レシピの趣旨として、これを原発のような重要施設の耐震設計に用いるならば、(ア)の手法と(イ)の手法を併用してより保守的な想定を心掛けるべきこととされていることは、より明確になったと言える。

【付記】

より詳しい資料は、この「福井から原発を止める裁判の会」サイト内では、



<http://adieunpp.com/study.html>

学習会のページ > 過去の学習会

17.3.26「基準地震動 島崎証人に期待すること」

長沢啓行さん 資料 をダウンロードしてご覧く

ださい。大きめの PDF ファイルです。

さらに、「レシピ」そのものは、以下のページから PDF ファイルがダウンロードできます。

「強震動評価 | 地震本部」

http://www.jishin.go.jp/evaluation/strong_motion/

2017年4月30日現在、以下のように書いてあります。

なお、この資料 PDF ファイルからは、**PDF** のボタンでリンクしません。

震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）（平成 29 年 4 月 27 日） **PDF**

震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）（平成 28 年 6 月 10 日） **PDF**

[平成 28 年 12 月 9 日： 表紙に英文タイトルを追加、p.1 と p.2 の文章を微修正・補足、p.3 と p.5 の項タイトルを微修正、p.12 の補足説明を微修正・補足、p.40 の図中表記を補足、p.41 と p.42 の図タイトルを微修正、p.45 の一部表記を訂正しました。]

震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）（平成 21 年 12 月 21 日改訂） **PDF**

[平成 20 年 9 月 5 日： p.8 の(11)式を訂正しました]

[平成 21 年 3 月 5 日： p.26 の(33)式を訂正しました]

(2009 年版の地震動予測地図報告書にて (33) ~ (35) 式の説明を追加します。)

[平成 22 年 12 月 28 日： 付図 5 を修正しました]